

M1 須山瑞紀さんが 第 57 回地盤工学研究発表会で 「優秀論文発表者賞」を受賞

令和 4 年 7 月 20 日から 22 日に新潟市（朱鷺メッセ）およびオンラインで開催されました地盤工学会主催の「第 57 回地盤工学研究発表会」において、理工学研究科博士前期課程 M1 の須山瑞紀さんが「優秀論文発表者賞」を受賞しました。

本賞は、今後の地盤工学分野を担う若手技術者及び若手研究者の活性化，研究意欲の向上を目的として設立した賞であり，発表内容，発表技術，発表時間，質疑応答において優れた発表を行った 35 歳以下の技術者及び研究者に贈られます。

発表した論文題目は、「堤防直下地盤の透水性が排水機能付き矢板の液状化対策効果に及ぼす影響」です。この研究では，排水機能付き矢板工法の液状化対策効果を検討することを目的に，遠心模型装置を用いて天端沈下量と過剰間隙水圧の関係を測定し，数値解析によってその妥当性を評価しました。その結果，河川堤防の設計方法の確立を期待できることが評価され今回の受賞となりました。

受賞，おめでとうございます。



須山さん



賞状